みどりの森くろつち学園小郡市立立石中学校　令和８年１０月２２日

立石中学校だより

校長　野中文明　　第１０号



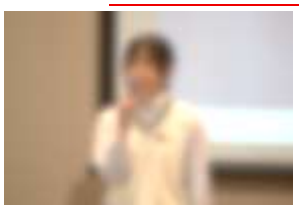
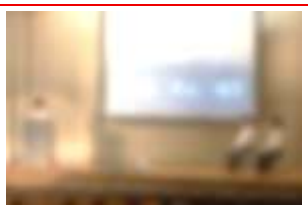
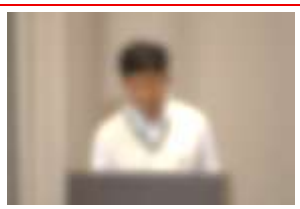
【学教育目標】郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成

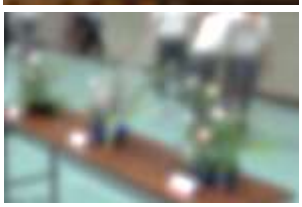
【重点目標】自分の考えや意見を分かりやすく伝える　【合言葉】思ったことを伝え合う教室に

二大行事「文化発表会」が大成功のもと終わりました。ありがとうございました！

「地域を愛する」ことの土台は、仲間との感動体験

１０月１６日（金）に立石中の二大行事である文化発表会が開催されました。私自身は、県外への出張と重なっていたために参加できずにとても残念でしたが、会場が感動に包まれ、とても素晴らしかったと聞きました。生徒会役員のメンバーを中心に、皆さんが毎日積み重ねた結果だと思います。特に合唱は、「誰か一人スーパースターがいれば上手くいくという訳ではありません。全員が自分の役割を自覚して、出来ることを精一杯果たしてこそ出来上がるものです。しかも、そこには周りの人との「調和」を意識しながら自分を調整するという、集団生活で大事な要素があります。その結果、今回、皆さんは素晴らしい感動体験を得ることができました。私は、学校教育目標の中にある**「地域を愛する」気持ちを生むのは、仲間とのいい思い出が土台**になると思っています。仲間と協力したという経験が、「**人のために何かしたい**」とか「**人と協力することは価値あることだ**」という気持ちを生み出す源になると考えています。ですから、皆さんが素晴らしい文化発表会を作り上げたことは、とても意味があることです。ただ、私は皆さんにもう一歩踏み込んでもらい、「どうやって自分たちは、素晴らしい文化発表会や合唱を作ることができたのか？」ということをしっかり振り返って、自分の中で整理し、いつでも使えるスキルとして引き出しにしまって欲しいと思っています。そうすれば、今回の経験が単なる体験で終わるのではなく、**自分の人生を豊かにしてくれる「再現可能なスキル」**になると思います。



終わりは始まり。さぁ、次は１・２年生の番です。

今回の文化発表会で、現在の生徒会役員の大きな仕事は終わりました。本当にお疲れ様でした。さて、次は「１・２年生の皆さんの番です！」目の前で、先輩たちが皆さんを引っ張ってくれているのをずっと見てきたと思います。今度は、皆さんがそのバトンを受け継ぐ番です。確かに、楽な仕事ではありません。しかし、**自分の力を誰かの学校生活をより良くするために役立てる。**そういう気持ちを立石中学校生徒会は、先輩たちから**脈々と受け継いで**きました。一人ひとりが、その**当事者**です。期待しています。



中体連新人大会・・・１、２年生の新チームも頑張っています。

※うきは市・三井郡・小郡市ブロック大会　10/3(土)開催

競技	結果	競技	結果
卓球	男子団体…３位 女子団体…惜敗	ソフトボール	優勝 ＊地区大会…10/31(土)

女子バレー	惜敗	男子バスケット	優勝（大原中と合同） ＊地区大会…11/21(土)-22(日)
軟式野球	惜敗		
駅伝	男子…２位　女子…５位(小郡市・三井郡のみの大会です) ＊10/17(土)開催		

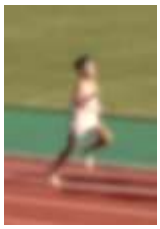
※筑後地区大会

駅伝	男子…１４位　女子…３０位　＊10/21(水)開催

※福岡県大会

陸上	１年 1500m　…６位　＊10/17(土)開催



















Compass　No.09

＝ **目標設定のスキル** × **振り返りのスキル** × **習慣化のスキル**

主体的によい選択ができる　行動の質があがる　労力は最小、結果は最大

今年の学校生活も半年が過ぎました。あなたの主体性は育っていますか？

私は、皆さんに主体的な人間になって欲しいと思っています。その理由は２つあります。

１つ目は、学校教育目標です。「郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成」の先にあるものは、一人ひとりが幸せな人生を送ることを目指す**「自己実現」**と**「社会貢献」**です。これらは両方とも、皆さん自身の**主体性をもとに叶うもの**です。

２つ目は、**「こう在りたい」という姿は、人それぞれ違う**ということです。しかも、自分の本当に在りたい姿を知っているのは自分だけです。とすれば、そこに対して働きかけられるのも自分しかいません。学校の一斉授業のようなみんな同じものでは成り立たないのです。つまり、他者からの指示を待っていたのでは、ずっとその場所に居続けなければなりません。すなわち、**自分で選んで自分で行動する「主体性」が求められる**のです。

私は以前、一人の生徒とこんなやりとりをしたことがあります。

野中：あなたはどうしたいの？
生徒：先生が決めてください。私は、そういうのが苦手です。
野中：えっ！自分で決められる方が良くない？
生徒：私・・・今まで自分で決めて、その度に怒られてきたから・・・。
　　自分で考えて怒られるくらいなら、最初から「こうしろ」って言って欲しいです。
野中：・・・。

この生徒は、自分で決めることを放棄していました。これは、大人にも責任があります。でも、これで良いはずがありません。いつか自分の中に主体性を取り戻さなくてはなりません。大切なことは、**自分で自分をより良い方向へ導くことができるようになる**ことです。そのために、とても効果的なものが「振り返り」です。次回は、ここに触れていきます。